

実用新案・意匠登録済

ストッピーシリーズ

ストッピーR

材質	長さ	幅	高さ	重さ
コンクリート	600mm	200mm	110mm	19kg



ストッピーシリーズの車止めは、ノーブルのもつ車止め基本性能を引き継ぎながらも、製品コストの低減をはかったブロックで、コストパフォーマンスの高いブロックです。ブロックには、手がかり、アンカー用の貫通孔を設けていますので、施工においてもコストの低減がはかれます。さらに、反射板を組み合わせることで、ブロックにちょっとしたアクセントが付き、視認性がアップします。

低くても高性能

ノーブルシリーズを開発したスタッフが、車止めの基本性能はできるだけ落とさずに、ブロックの高さを抑えて開発しました。

不倒構造

ブロックの裾が広く、車の力を後ろの裾で受けますので、ブロックが倒れません。

工事がラク

ブロックに手掛りを取っていますので、運搬・据付などの作業が大変楽になりました。丁寧な工事が効率的にできます。

シンプルでお手ごろ

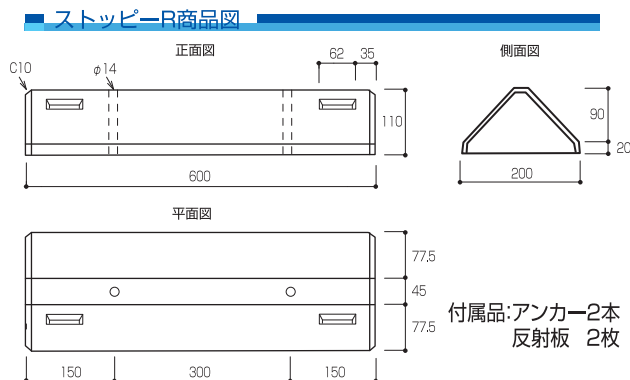
ブロックの断面を等脚台形でシンプルにしましたので、ノーブルに比べ型枠費用の低減が図れ、価格もお手ごろになりました。

デザイン

ノーブルシリーズと同様に、前後対称の裾が広いデザインとしており、安定感、安心感を生み出しています。また、素材にコンクリートを使用していますので、他の素材のようにもろく壊れることがありません。



施工例



■用途 普通車、軽自動車車止め

(大型車の車止めとしてはご使用になれません)

※掲載商品の外装、仕様等がお客様に予告なく変更する場合があります。
※カタログの写真と実物では若干色が異なります。

ストッパーR据付方法

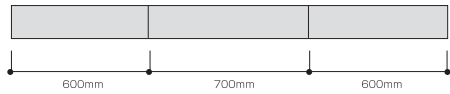
実用新案・意匠登録済

ボンド接着法

寸法板の作成

現場の区割幅を確認して下図の寸法板を作成しておきます。

(下図は参考)



ライン引き

ブロックの前後方向の位置決めをする前面ラインを各区割に引きます。

(参考) 壁、フェンス等の障害物からの距離 mm

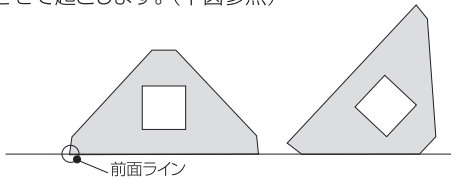
	軽自動車	一般車
前面ライン	600	1,200

マーク

準備した寸法板をラインに沿わせ、車幅方向で各区割の中央になるようにセットします。各ブロックの左右の位置をそれぞれマークします。

仮設置

ブロックを仮設置し、据付位置を最終確認します。そしてブロックと床のがたつきの有無を確認します。その後、ブロックは、ラインの無い側に回転させて起こします。(下図参照)



掃除

ブロック接合面のカスをワイヤーブラシ等で取り除き床のほこりもはらっておきます。接合面が濡れて入る場合は、乾燥するのを待って工事を行ってください。

接着剤

ブロック裏面に盛るようにして接着剤を塗ります。

据付け

ブロックを回転させ据付けます。ブロックを踏みつけて接着剤がなじむようにし、はみ出した場合は、とっておきます。約1日で完全接着します。

穴処理・反射板付け

ブロック上面の穴をモルタルもしくはコーキング剤で埋めます。また、反射板をくぼみにつけます。

付属品: アンカー2本、反射板2枚

※アスファルト舗装用アンカーとコンクリート舗装用アンカーがありますので、ご注文の際はご指定ください。

据付法概要

据付法としては、以下に示す2つがあります。

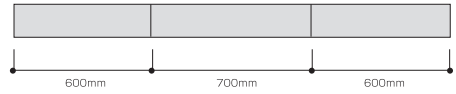
- ボンド接着法(ボンド(別売))
- 後アンカー据付法(ボンド(別売))

後アンカー据付法

寸法板の作成

現場の区割幅を確認して下図の寸法板を作成しておきます。

(下図は参考)



ライン引き

ブロックの前後方向の位置決めをする前面ラインを各区割に引きます。

(参考) 壁、フェンス等の障害物からの距離 mm

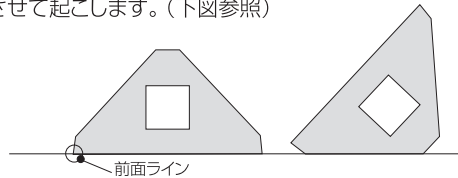
	軽自動車	一般車
前面ライン	600	1,200

マーク

準備した寸法板をラインに沿わせ、車幅方向で各区割の中央になるようにセットします。各ブロックの左右の位置をそれぞれマークします。

仮設置

ブロックを仮設置し、据付位置を最終確認します。そしてブロックと床のがたつきの有無を確認します。その後、ブロックは、ラインの無い側に回転させて起こします。(下図参照)



掃除

ブロック接合面のカスをワイヤーブラシ等で取り除き床のほこりもはらっておきます。接合面が濡れて入る場合は、乾燥するのを待って工事を行ってください。

接着剤

ヘラでブロック裏面に盛るようにして接着剤を塗ります。

据付け

ブロックを回転させ据付けます。ブロックを踏みつけて接着剤がなじむようにし、はみ出した場合は、とっておきます。

下穴を空ける

ブロック上面の穴からハンマードリルで下穴を空けます。(ドリルビットはφ13、有効長200mmのものを用います。)

ピンを打ち込む

ピンをブロック上面の穴から入れ、ハンマーで上面から10~20mm下がるまで打ち込みます。

穴処理・反射板付け

ブロック上面の穴をモルタルもしくはコーキング剤で埋めます。また、反射板をくぼみにつけます。

商品名	ボンド接着法	L金具併用法	Rシリーズ据付法	後アンカー据付法	ピン併用法
カーSTOPパー ノープル500	○	○			○
カーSTOPパー ノープル600A	○	○			○
カーSTOPパー ノープル600	○	○			○
カーSTOPパー ノープル600K			○		
カーSTOPパー ノープルBI				○	
カーSTOPパー ノープルBII				○	
カーSTOPパー ノープルBIII				○	
ストッパー	○			○	
ストッパーR	○			○	

OTEX オーテックス株式会社

■ 本社 〒631-0041 奈良県奈良市学園大和町3-133 TEL 0742-45-8220 FAX 0742-48-8792
 ■ 東京営業所 〒114-0001 東京都北区東十条3-16-4 TEL 03-3919-8290 FAX 03-3919-8297